

第4回 学校運営協議会

日時：令和5年2月17日（金）

14:30～16:00

場所：鹿玉小学校 会議室

学校教育目標 「自ら考え みがき合う子」

学校経営目標 「なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、

主体的に考える力を育てる学びの創造」

次第

司会：教頭

- 1 挨拶 14:30
 - (1) はじめのことば
 - (2) 日程説明、開催要件の確認
- 2 挨拶 14:40
 - (1) 会長挨拶
 - (2) 校長挨拶
- 3 校内参観（15分間）
- 4 議長の選出
- 5 第4回学校運営協議会の議事内容確認
- 6 熟議
 - (1) 学校関係者評価（教務）
 - ・ 第2回学校評価アンケートの分析
 - ・ 来年度の教育課程の説明と改善策
（いじめ防止等のための基本方針について）
 - (2) 「2023 Aratama Plan」（グランドデザイン）の概要説明（校長）
 - (3) 学校運営協議会の自己評価（会長）
 - ・ 来年度の課題と具体的な手立て
- 7 報告
 - ・ 夢育やらまいか事業（CS加算分）の報告
- 8 連絡
 - (1) 今後の学校行事 新型コロナウイルス感染症対応（現状）
 - (2) 来年度の学校運営協議会について



2022 亀玉小学校 学校運営協議会委員

NO	氏名	役職	所属
1	竹内 茂	委員	宮口まちおこしの会
2	渡邊 剛一	委員	亀玉地区社会福祉協議会会長 亀玉地区 みらいづくり協議会幹事
3	伊藤 順子	委員	前主任児童委員
4	萩原 蓮實	委員	地域安全推進委員
5	平野 和江	委員	地域有識者
6	松下 信子	委員	地域有識者
7	曾我 雅也	委員	PTA 会長
8	鈴木真由美	委員	PTA 副会長
9	森田 智佳	学 CD	主任児童委員 学校ボランティア

学CD：学習支援コーディネーター

事務局

NO	氏名	役職	所属
1	西川 正師	校長	亀玉小学校
2	大柴 啓司	教頭	亀玉小学校
3	阿部 泰幸	教務 CS担当	亀玉小学校
4	町田 和代	CSディレクター	学校ボランティア

令和4年度 第3回 鹿玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月29日（土） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 鹿玉小学校 会議室
- 3 出席委員 竹内 茂 伊藤 順子 渡邊 剛一 萩原 蓮實 松下 信子 曾我 雅也
鈴木 真由美 森田 智佳
- 4 欠席委員 平野 和江
- 5 学 校 西川 正師（校長） 大衆 啓司（教頭） 阿部 泰幸（教務主任）
町田 和代（CSディレクター）
- 6 オブザーバー 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 第2回学校運営協議会の議事内容確認（会長）
 - (2) 第1回学校評価の分析と「チャレンジ期」の検証（教務）
 - (3) 実践部会（職員）と学校運営協議会のメンバーとの熟議（各実践部長）
※「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」の3部会に分かれる
 - (4) 今後の学校行事及び来年度の教育課程編成に向けて（教務）
- 9 会議録作成者 CSディレクター 町田 和代

10 会議記録

- (1) 第2回学校運営協議会の議事内容確認（会長）

議長の竹内氏から、第2回学校運営協議会の議事内容確認があり、委員全員で確認し異議なく承認した。

- (2) 第1回学校評価の分析と「チャレンジ期」の検証（教務）

議長の指示により、教務から、資料に基づき第1回学校評価の分析と「チャレンジ」ステージの活動の説明があった。

- (3) 実践部会（職員）と学校運営協議会のメンバーとの熟議（各実践部長）

※「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」の3部会に分かれる

教頭の指示により、「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」の3部会に分かれ、教員と学校運営協議会のメンバーでグループワーク。

「やさしい子」竹内委員・伊藤委員・鈴木委員・中田教諭・佐々木教諭

今までは「自分や友達の良さが分かる」「やさしい言葉遣い」を目指していた。

・帰りの会での良いこと見つけのコーナーでの発表。

・あいさつ・ニコニコ生活委員会の活躍。シールを励みに頑張る。

これからのチェンジ期は「互いの良さを生かす」を目指す。

・放送で学級自慢を紹介（学級） 自分の良さを生かして活動する（個人）

・あいさつ・下校時に昇降口であいさつ運動。

「かしこい子」渡邊委員・曾我委員・森田委員・中野教諭・中村教諭

チーム一丸となって、子供たちの学習・学力の向上に力を注いでいる。

- ・学びみつけ→学んだことを生活の中で発見⇒良いものをブログに。
- ・ステップアップ表の活用→「今日は〇〇を目指そう」
- ・みらいプレート→学習の中でその都度、生活や未来につながるものを取り上げる。
- ・計算力テスト→結果から苦手を分析。9月の2回目には結果が向上した。
- ・MIM→低学年、言葉の指導（読みの指導）2年が1年に教える。
- ・ICT→家庭学習スタート（タブレット）リモート学習の準備。

「たくましい子」萩原委員・松下委員・山本教諭・秋月教諭

・子供たちが目標に向かって、頑張ることができている。

→持久走記録会を1つのゴールに盛り上げ、現在の数値をより高めていきたい。

・保護者の評価が少しでも良くなるとよい。

→チェンジ期から、あらっ子カードにめあてを貼ることを実施。

・持久走記録会⇒目標記録を定め、その成果が分かるよう工夫をしていく⇒持久走カードを保護者にも見せ、成果を伝えていく。

・目標に向かってチャレンジするだけでなく今の自分を振り返り、目標を調整する力・分析する力をつけてほしい。

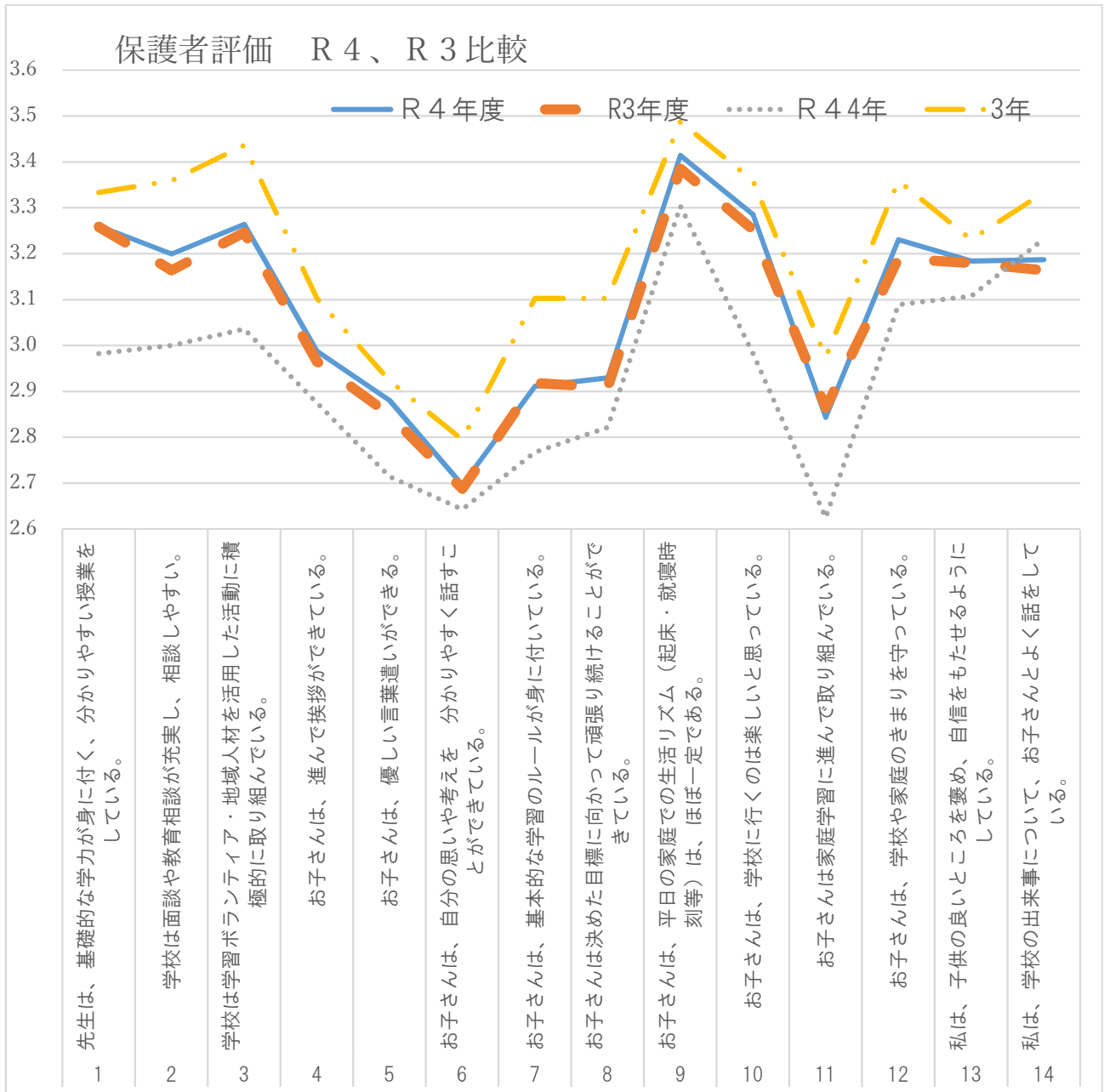
・心をたくましく成長させることで、他人へ優しくすることができるようになる。
心も体もたくましい子に成長してほしい。

(4) 今後の学校行事及び来年度の教育課程編成に向けて（教務）

議長の指示により、教務から、資料に基づき今後の学校行事及び来年度の教育課程編成に向けての説明があり、委員全員で確認し異議なく承認した。

11 その他報告事項（今後の予定）

事務局から、学校運営協議会自己評価についての説明及び、次回会議は令和5年2月17日（金）午後14時30分から開催する旨の報告があった。



学校全体で見ると、昨年度の評価（R3.12月）と比較すると、改善の方向に微増している学年が多い。特に3年生、5年生は、「子供は学校へ行くのが楽しい」と思っている。「平日の家庭の生活リズムは一定である」が3.5とたいへん高い。一方、「子供は学校へ行くのが楽しいと思っている」の評価が低い学年は、「挨拶」「言葉遣い」「家庭学習」などが2点台とかなりが目立つ傾向にある。

家庭のリズムと学校のリズムが相関的に関係していることやコミュニケーションに関わる項目が大切であることがこの結果から伺える。

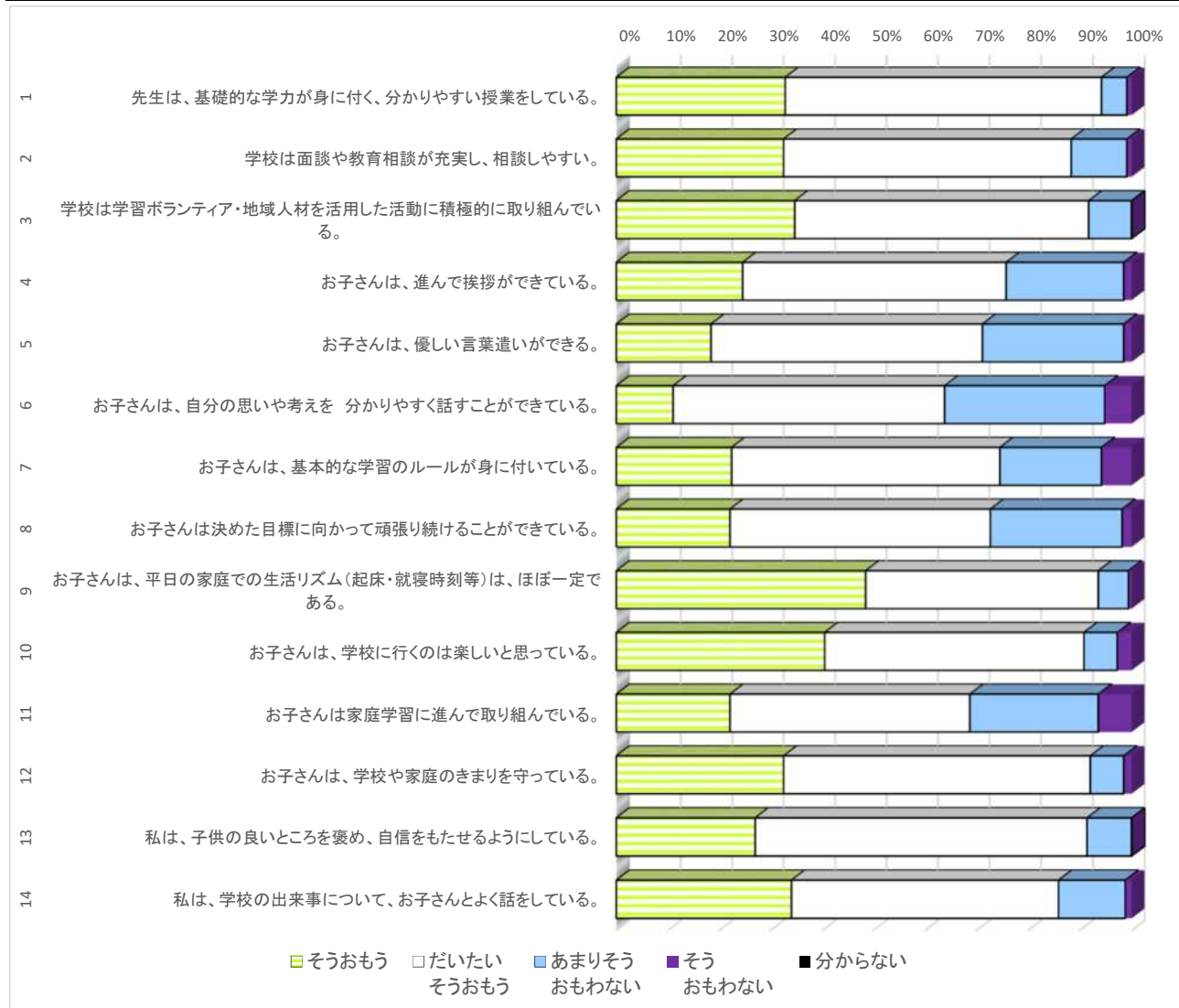
令和4年度 後期 生活ふり返りアンケート 【保護者用】

1 がくねんに ○をつけましょう。

保護者実現度（全体）

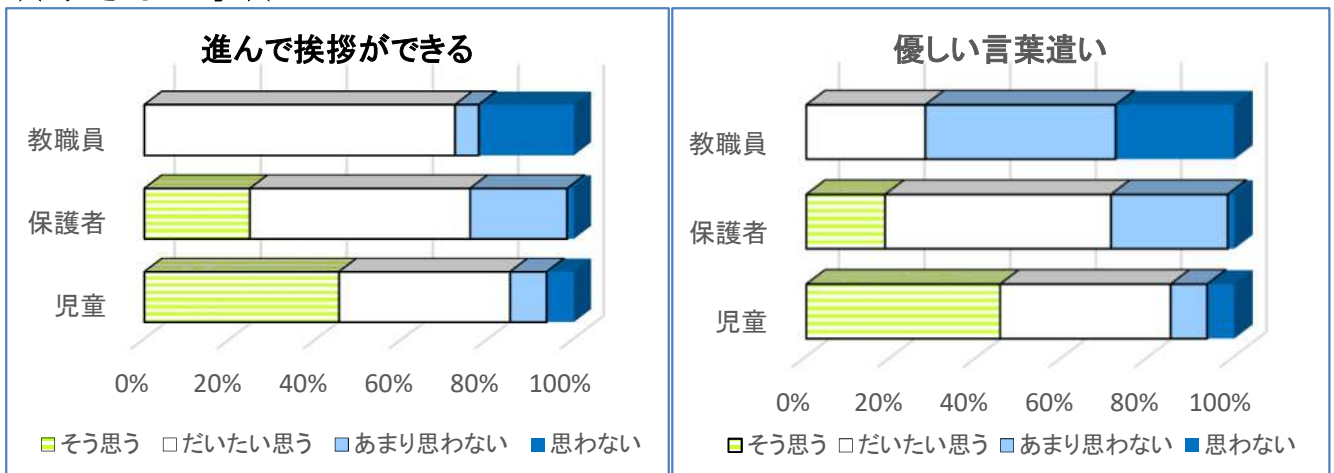
2 したの こうもくに ついて、4 だんかいから あてはまるものを えらんで ○を つけましょう。

ふりかえり こうもく	そうおもう	だいたい そうおもう	あまり そう おもわない	そう おもわない	分からない	平均値	1学期	比較
1 先生は、基礎的な学力が身に付く、分かりやすい授業をしている。	107	200	16	3		3.3	3.2	△
2 学校は面談や教育相談が充実し、相談しやすい。	106	182	35	3		3.2	3.2	=
3 学校は学習ボランティア・地域人材を活用した活動に積極的に取り組んでいる。	113	186	27	0		3.3	3.2	△
4 お子さんは、進んで挨拶ができています。	80	167	74	5		3.0	2.9	△
5 お子さんは、優しい言葉遣いができる。	60	172	89	5		2.9	2.9	=
6 お子さんは、自分の思いや考えを 分かりやすく話すことができます。	36	172	101	17		2.7	2.7	=
7 お子さんは、基本的な学習のルールが身に付いている。	73	170	64	19		2.9	2.9	=
8 お子さんは決めた目標に向かって頑張り続けることができます。	72	165	83	6		2.9	2.9	=
9 お子さんは、平日の家庭での生活リズム（起床・就寝時刻等）は、ほぼ一定である。	158	147	19	2		3.4	3.4	=
10 お子さんは、学校に行くのは楽しいと思っている。	132	164	21	9		3.3	3.2	△
11 お子さんは家庭学習に進んで取り組んでいる。	72	152	81	21		2.8	2.9	▼
12 お子さんは、学校や家庭のきまりを守っている。	106	194	21	5		3.2	3.2	=
13 私は、子供の良いところを褒め、自信をもたせるようにしている。	88	210	28	0		3.2	3.2	=
14 私は、学校の出来事について、お子さんとよく話をしている。	111	169	42	4		3.2	3.2	=

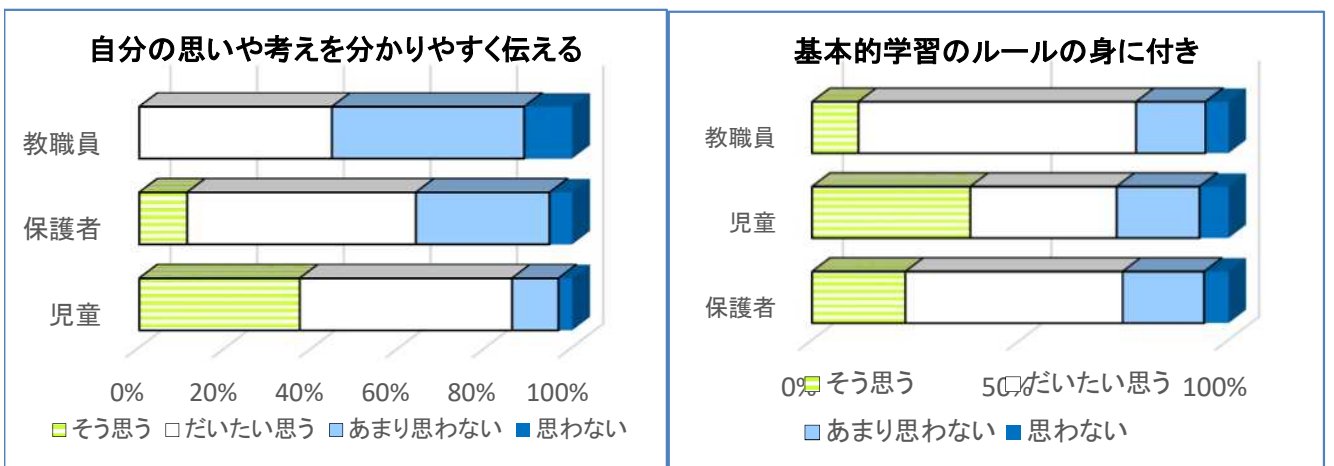


令和4年度 後期 6項目3者の実現度比較

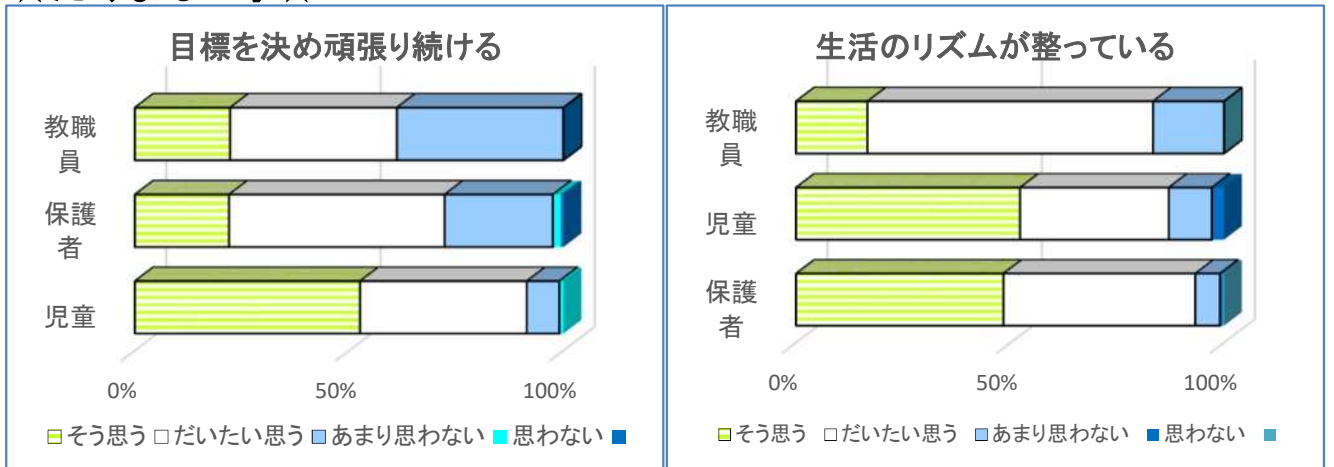
☆やさしい子☆



☆かしこい子☆



☆たくましい子☆



メモ

令和4年度 学校運営協議会自己評価表まとめ

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 分かりやすい資料と先生からの具体的な説明を聞くことができ、よく理解できた。委員からもいろいろな意見・質問等があり、熟議が充実していたと思います。
- 校長先生より学校教育、学校経営目標の具体的な説明をいただき、学校運営の基本方針について理解することができた。
- 委員の方々も3年目となり、様々な意見・要望が出され熟議することができた。
- 学校経営書の内容について、校長から説明を受け各委員それぞれから様々な質問・意見が出され、熟議の結果、学校が目指す子供像にベクトルを合わせることができた。
- 学校運営協議会開催時の資料がとても明確で、理解しやすく熟議がスムーズに進行でき、各委員の方々の多方面からの意見も多く有意義な協議ができたと思います。
- 学校運営について、基礎的・基本的な知識等な細かく説明を受け、委員からいろいろな意見が出て、各项目的に熟議することができ、共有し、理解ができた。
- 学校運営協議会の場で、詳しい説明があり、理解できた。
- 資料の準備や提示がしっかりなされており、委員として、ミーティングでの議事にうまく参加できた。我々の発言に対しても、聞く体制ができていたことが何よりもありがたいと考えている。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 学校から、現在の状態と目標、課題、取り組みを丁寧に説明していただき、今どんな対応が必要かを先生方と委員で話し合いができました。
- 運営委員も授業参観したり、支援に入ったりすることで現状の把握ができた。
- 学校の目指す「自ら考え みがき合う子」テーマ別の分科会方式で先生方と委員との活発な意見を交換して、具体的な支援策を熟議することができた。
- 学校が目指す子供の姿について、3つのパート（やさしい子、かしこい子、たくましい子）に分かれての教員を交えての熟議、学年主任との意見交換、学習ボランティアについての具体策の検討など有意義な熟議ができたと考える。
- 授業参観では、保護者の方々の意見もたくさん聞くことができ、意見交換することで新しい情報、変化している様子を見ることができました。
- 実践部会の熟議では、教職員の方々の熱意が感じられました。学校側からの要望にまだ力不足だと実感しました。
- 共有された方針を基に、教育活動の内容などに地域の協力など入れた活動で、今後の教育向上につなげられる実感を得られました。
- 学校に必要な支援を知ることができた。
- 委員それぞれの意見を聴くことができた。
- 先生方のお話により、目標に向かっている様子が具体的に分かった。

○活動予定も細かく発表されていることで、通学児をもたない我々にも、現在の様子が手に取るように理解できた。それをもとに熟議を進められた。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- コロナもまだ続く中、地域の方との活動は少しずつ増えてきましたが、まだもっと必要性を感じます。
 - 課題のある児童（1、2、3、4年、支援クラス）が2学期に入り増えてきている。支援員を増員しても様々な問題を抱える児童が多く、担任、養護教諭、支援員を含めた関係者の負担が大きい。支援の先生が午後にはいないことで手薄になる場面も生じ、問題点が多くある。授業、校外学習など保護者、地域ボランティア等募り、見守りはできているが暴力をふるったり、暴言をはいたり、離席したりする児童が多数のため、支援員の増員だけでなく、児童個々の規範意識を高めることも必要ではないか。
 - 年間を通し、十分な熟議ができたと思われるが、学校・家庭・地域との協働という視点での活動を展開していけたら更に良いと考える。
 - 学校運営協議会に参画させていただいて、様々な意見、情報交換ができました。今後、教職員の方々、学校関係の皆様と熟議を深め、私自身未熟ですが、少しでも参画して、手助けができればと思います。
 - 現在、学校内で問題視されていることの内容をよく協議して、学校として現体制や取り組み方など考え、「自ら考え みがき合う子」を一步前に進ませたい。
 - 校外学習の付き添いや図書関連の作業に継続して参加してもらっている。少しずつでも参加者を増やしていきたい。
 - 午後の見守りボランティアについては、その募集方法今後も試していきたい。
 - （ボランティアに関して、まだ二の足を踏んでいる方も学区内にはいるはず…。開かれた学校のイメージを広める手段がないだろうか？《 回覧の効果より大きいもの》）
（コロナ対策をすることで、交流の場も増やせるのでは？と考えている。）
- ☆地域、家庭、学校の歯車のかみ合った学校運営☆

<評価項目4> (協議会の取組や学校運営に資する活動について、保護者、地域と連携し、協働することができたか。)

- 見守りボランティアに多くの方が参加してくださり、学校で何が必要、大変かを理解してもらえる機会が増えました。
- 協働ができていると思う。
- 次年度は、協議会の取り組みや学校運営に資する活動について更に理解、協働していくことが必要である。
- 見守りや学習ボランティアを通じて、地域との協働がなされているが、まだまだ十分とは言えない。家庭・地域への更なる案内、周知が必要であると思う。
- 宮口の祭典という歴史を守るという事で、コロナ禍で十分な活動ができませんでしたが、鹿玉小・中学校卒業生の若連の子供たちが子供たちのために、たくさん工夫して出店をしてくれました。コロナ対策もしつつ、安心して楽しいお祭りでした。地域の連携が感じられ、とても嬉しい思いでした。
- 教職員との熟議を年2回位あるとより進めやすいと思う。
- 協働センターにチラシを掲示していただいているが、参加者が話す、誘うことが一番の広報だと思うので、参加者には、その協力もお願いしていきたい。
- 家庭科（ミシン）の授業に、今年度も地域の方が参加してくださった。
- 協議会の中で、個々の役員さんが地域の別団体にも所属して連携されていることはありがたく感じている。その方たちを学校に引き込んでの活動をさらに拡大していただきたい。私個人としては、少々のボランティア以外、参加できずにいたが、声掛けは続けていきたい。



浜松市が目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供

鹿玉中学校区の目指す子供像

- 心を磨く
- ～認め合い共によさを磨き合う子供～

保幼小中の連携

学校教育目標

自ら考え みがき合う子

学校経営目標

～なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、主体的に考える力を育てる学びの充実～

やさしい子

- 自分や友達のよさが分かる子
- やさしい言葉遣いができる子

かしこい子

- 基礎基本を身に付けた子
- 主体的に自分の考えを表現したり、相手の考えを聴き、とりいれたりすることができる子
- 学習したことと身近な生活とのつながりを見付けられる子

たくましい子

- 自分に合った目標に向かって粘り強くチャレンジする子
- 自分の体の健康や安全な生活について考えて行動する子

主体的・対話的で深い学び

情報の教育化

カリキュラム・マネジメント

キャリア教育

かかわる力
相手の思いを受け止め、自分の考えを伝える

見つめる力
自分のよさを見つけ、生活に生かす

チャレンジ力
目標や課題に向かって、粘り強く取り組む

つなげる力

なりたい自分のイメージを描く



発達支援教育の理念を根幹にすえた教育（児童理解と授業改善）

家庭地域との連携協働

～社会に開かれた教育課程～
よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る

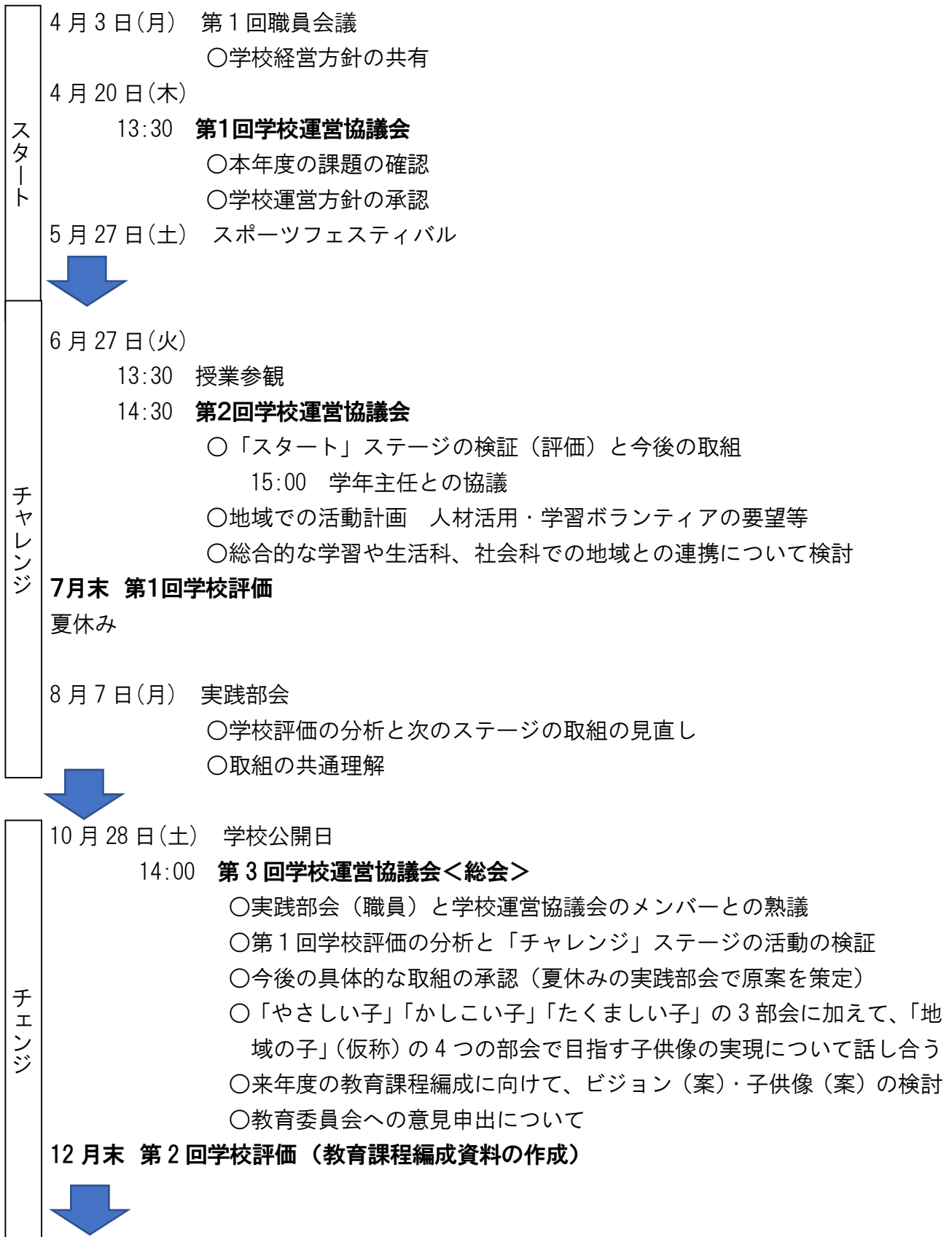
学校運営協議会

家庭
PTA
メタセコイア
あらっこ応援隊

地域
まちおこしの会
自治会
シニアクラブ
地域安全推進委員

参観会・学校便り・学年便り・保健便り・ブログ

亀玉小学校 コミュニティ・スクール 学校運営協議会計画（案）



1月～ 次年度の教育課程編成

- 職員でビジョンの設定（第2回で検討したビジョンを基にする）
- 「2024 Aratama Plan（グランドデザイン）」の作成
- 各実践部会で、次年度の子供像、具体的な取組を作成
- 目指す子供像を実現するための年間行事計画の作成
- 教育課程冊子の作成

2月16日(金) あらっこ学習発表会

14:30 **第4回学校運営協議会**

- 第2回学校評価の分析
- 「2024 Aratama Plan」（来年度の基本方針）の概要説明
- 次年度の教育課程の説明と検討
- 来年度の課題と具体的な手立ての説明と検討
- 学校関係者評価の実施